

インフルエンザ様疾患の発生について

平成20年11月20日

薬事衛生課 6532

担当：細木、糸川

1 概要

本日、松江市教育委員会から松江保健所に次のとおりインフルエンザ様疾患の集団発生の報告がありました。これは、今冬、県内で初めての集団発生となります。

(1) 発生施設：松江市立津田幼稚園（在籍者120名）

(2) 発生範囲：全園

在籍者120名のうち患者数43名（うち欠席者43名）

(3) 措置：園閉鎖（平成20年11月21日）

(4) 主要症状：発熱（38度以上）、咳

2 県民への呼びかけ

インフルエンザが流行する時期になりました。予防にあたり、次の点に気をつけましょう。

◆主要症状は次のとおりです。

・38度以上の発熱 ・関節痛や筋肉痛など ・激しい咳 ・のどの痛み

◆次のことにご注意ください。

○一般的事項

- ・外出後の手洗い、うがいの励行 ・マスクの着用 ・人混みを避ける
- ・過労や睡眠不足を避ける ・十分な休養とバランスのとれた栄養を取る
- ・室内の乾燥に気をつけ、適度な湿度を保つ
- ・医療機関への早めの受診を心がける

○咳エチケット

- ・咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- ・鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ・咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

※特にインフルエンザは、乳幼児や高齢者、基礎疾患を有する方などが感染すると、肺炎等の合併症を引き起こしやすいため、早めに医療機関を受診してください。

【参考】

1 全国の発生状況

○インフルエンザ様疾患発生報告（第2報）：厚生労働省健康局結核感染症課
※平成20年11月8日現在

（1）発生都道府県等：8道府県、3政令市

（2）発生状況：延べ24施設、患者数446人

（昨年同期：延べ78施設、患者数2,199人）

○インフルエンザウイルス分離状況：IASR（病原微生物検出情報）

※平成20年11月20日現在

・Aソ連型（5例）、A香港型（25例）、B型（30例）

2 島根県の今冬のインフルエンザウイルス分離状況

平成20年11月17日に県内のインフルエンザ定点医療機関の検体から、インフルエンザウイルスA香港型を分離しています。

3 島根県の過去3カ年のインフルエンザ様疾患発生状況

（1）平成19～20年シーズン

①初発年月日等：平成19年12月11日 出雲市

②同時期時点累計：報告なし

③最終累計：延べ136施設、患者数2,332名

（2）平成18～19年シーズン

①初発年月日等：平成19年1月15日 大田市

②同時期時点累計：報告なし

③最終累計：延べ146施設、患者数3,296名

（3）平成17～18年シーズン

①初発年月日等：平成17年11月16日 出雲市

②同時期時点累計：1施設、患者数19名

③最終累計：延べ214施設、患者数4,312名

※「同時期時点累計」とは各シーズンの11月20日時点の累計です。

なお、次回からは、別表様式（一覧表）により情報提供します。